

いぶき野小学校 通学区域調整委員会ニュース

第 5 号

平成19年4月16日

発行:いぶき野小学校通学区域調整委員会事務局

第 5 回調整委員会

☆平成19年3月28日(水)10時から

☆いぶき野小学校コミュニティハウスにて

前回要望のあった霧が丘中学校の推計について提示しました。
また、過大規模校の課題・問題点、長津田小・霧が丘小の魅力
について説明しました。

今回の説明・協議内容等

- 1 霧が丘中学校の推計について
- 2 過大規模校の課題・問題点について
- 3 長津田小・霧が丘小の魅力について
- 4 調整委員会に寄せられたご意見・ご要望について

1 霧が丘中学校の推計について

前回の調整委員会で要望のあった長津田みなみ台四丁目を霧が丘小学校に学区変更した場合の霧が丘中学校の推計について、事務局から提示し、説明しました。

長津田みなみ台四丁目を霧が丘小学校・霧が丘中学校に学区変更した場合（兄弟考慮(※1)）

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27 ^{*2}	28	29	30	
霧が丘中 (17CR)	生徒数	300	295	278	260	264	271	268	272	276	319	366	398	379
	学級数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	11	12	11

※1 通学区域変更時点で既に兄及び姉がいぶき野小学校に就学している場合に、弟及び妹の指定地区外就学によるいぶき野小学校への就学を認める場合の推計。

※2 霧が丘小学校への学区変更は平成21年度と考えているので、中学校の学区変更は平成27年度からを想定。

2 過大規模校の課題・問題点について

いぶき野小学校が過大規模化した場合に懸念されること

○授業指導面の課題

・個々の児童に応じた教育指導(少人数指導)が行いづらい

従来の教授型指導の授業から、子ども一人ひとりの基礎・基本の確実な定着を図るため、個(児童)に応じた授業の充実が求められている。通常のクラス枠をはずして教科の特性及び児童の理解状況・習熟度に応じて学習指導をする少人数指導がより効果的である。しかし、児童数増加に伴い、余裕教室が少なくなり(19年度 30クラス 7教室 → 34クラスの場合 3教室)少人数指導が行いづらくなる。

少人数指導とは

- ① 内容:学級よりも小さな学習集団で指導する。
- ② 学習集団の作り方: ・1つのクラスを2つに分ける。
・学年全体を学級数より多くの集団に分ける。(5年5クラス→6つのグループ)
- ③ 教科: 主に算数、数学が多い。
- ④ 教員: 担任、専科教諭以外に少人数指導用教員を全校に配置する。

・教育カリキュラムが円滑に回りにくい

特別教室を使用する授業(理科・音楽・家庭・図工など)の時間割の調整が難しくなる。例えば、3年生から6年生までが理科の学習で、必要な時、自由に理科室を使用できなくなる。

また、体育の授業における校庭、体育館使用調整が困難となり、複数のクラスが、校庭、体育館を同時に使用する場面が発生するので、授業内容上制約を受けている。

校庭・体育館使用の実情

- ① 18年度(30クラス)においても同一時間帯において、4クラスが授業(校庭3クラス、体育館1クラス)。最大で5クラスの場合あり。(校庭3クラス、体育館2クラス)
- ② サッカーのような校庭全面使用の授業は制約を受ける。

○児童指導面の課題

児童数が1,000人を超すような状況になった場合、集団で動かざるを得なくなる。例えば音楽教室への移動が、整列で集団移動になるなど、集団のルールが適正規模の学校よりきつくなり、自由さが少なくなる。

○学校行事面の課題

・体育館を使用する全校児童出席を要する学校行事の実施に支障が出る

34学級を超すと、体育館での集会や朝会が、手狭になる。
保護者の見学席がなくなる。

・ **宿泊体験学習先の制約**

1学年200人を超すと、泊まるところが制限される。
遠足や社会科見学で、200人を超すと電車での移動は大変困難になる。
バス使用も横浜市交通局は3台までしか確保できないので、4台以上になると割高な民間バスにより、対応せざるを得なくなる。
校外学習の際、1学年が6クラスになると統制の取れた指揮が、見学場所によっては難しくなり、見学場所の制限が出てくる。
(山登り、工場見学等)

・ **運動会の際の観客席の確保**

保護者が、校庭内にシートを敷いて参観することが困難になり、立ち見になっている。

○その他の課題

・ **男女別児童更衣室の確保**

性差を大切に児童の健全育成の推進や社会的なマナーを身につける上で更衣室の確保が望ましいが、18年度から確保できなくなり、教室をカーテンで間仕切りし、対応している。

・ **災害時の避難経路確保の困難**

緊急災害時(地震・火事等)において、階段・昇降口などが、出火場所や災害の程度によっては過密状態となり、スムーズな避難行動が取れない状況が想定され、児童の安全性の確保が心配される。

3 長津田小・霧が丘小の魅力について

長津田小の魅力

○学校教育目標 具現化への基本方針

～昔を知り、今を育てる…出会い、ふれ合い、支え合いを通して～
昔からの長津田をさぐり、長津田の人々をよく知り、そしてよく考え、行動し、**みんなの住みよい長津田のまちをつくり、愛着の心を持ち、将来、長津田に貢献できる子どもの育成を目指す。**
長津田のまちの物的資本、人的資本、人間的温かさを尊重し、継承していくというスタンスで学校運営に取り組んでいく。

◆ 長津田のまちの特性

- ・ 昔には**大山街道の宿場**があり、歴史とJRと私鉄が走る利便性豊かなまち
- ・ 昔からそして今も**農業**に励み、暮らしを支えている人たち
- ・ **新しく長津田に住み、新しいまち・長津田を作る人たち**

◆ 学区内の状況(子どもを取り巻く環境)

- ・ **三世代家族、祖父母と居住している子**もいる。
- ・ **横浜開港2年前の安政4年江村塾以来の伝統校**で、地域や保護者の方々の温かいまなざしがあり、理解、協力、支援が得られる。
- ・ PTAのテーマ「いつも子どもを真ん中に、笑顔で困むPTA」を目指し、日々、真心と熱意、そして協力的な姿勢で真摯な活動がされている。

◆ 長津田小の状況を一言で言えば！

- ・ 学校の**周りが静か**で、**緑に囲まれて**落ち着く
- ・ 「**野草園**」があり、四季折々の野草の様子が観察できる
- ・ 素直で礼儀正しい子どもたちであり、**集団登校やたてわり活動**で、児童の仲はよく、楽しく学校生活を送っている。
- ・ 地域の人とふれあう行事や機会が多い。

○指導の重点

◆ **国語力の向上**

・ **読み聞かせボランティアの活躍**

各学年の**保護者が、ボランティアとして**毎週木曜日朝の時間(始業前)に読み聞かせを行っている。(5、6年は毎週木曜日朝の時間に各自の読書計画で行っている。)

学級ごとに親子の交流ができ、担任、児童、保護者の一体感が生まれ、学校運営に寄与している。

・ **作文放送**

月2回水曜日にスタジオから**テレビ放映**

テーマ:人権、福祉、行事、俳句、詩等

放送日:年度当初に各学級に割り当て

発表者:1クラス5、6名にしたり、俳句など時間のかからないものは全員で発表

友だちの良さや考え方を知ることができ、また、表現力や伝える力、**発表プレゼンテーション能力の育成**につながっている。

◆ **英語教育の実施**

- ・ 職員研修、英語支援ボランティア
- ・ 学年ごとの英語カリキュラムや指導資料

◆ **東工大学生ボランティアによる学校支援**

- ・ **東工大学生による授業支援**を依頼中。具体的な実施方法、回数は未定。
- ・ 依頼内容:英語教育、理科学習、科学クラブ、夏期学習日等のサポート
- ・ 過去に6年理科 電磁石の学習において、教授に出前授業を実施したことがあり、児童に大変人気が高かった。
- ・ 理科離れの児童から理科に興味を持ち、理科好きの児童を育てたい。

○児童指導

◆ 19年度より児童指導体制強化研究モデル校に指定

- ・児童指導のあり方研究推進(児童指導担当教諭の新たな配置)
- ・ **カウンセリング研修、問題行動の事例研究**などにより、組織的、効果的な指導体制の整備
- ・ **児童への教育相談**や個別指導の充実
- ・ **保護者への教育相談**や支援活動も並行して実施
- ・ 児童相談所、子ども家庭支援センター、警察、主に児童委員との連携、協働

○宿泊体験学習の特色

適正規模様の良さを活かし、全体行動のほかに**児童の希望により**参加できる**選択行動**を採り入れている。

5年	全体活動	カッター訓練、カヌー体験、江戸時代の風待ち港の子浦、日和山から入江視察、子浦まち体験	+	選択活動	魚釣り、ビーチフラッグ、ビーチバレーボール
6年	全体活動	東照宮見学、日本平茶摘体験、登呂遺跡見学、由比漁港漁業体験と魚をさばく体験、清水エスパルスクラブハウス練習見学、東海大学水族館見学、夜の魚の生態、三保の松原海岸散歩、羽衣伝説語り部	+	選択活動	塩作り体験、自然博物館見学、水族館裏側体験

○異学年児童との交流

年間を通じた、たてわり活動

- ・ 月1回、中休みに、**たてわりグループで遊ぶ**。
- ・ 全校遠足又はあそび祭りを隔年で行っている。

○地域を活かした特色ある活動

学校支援ボランティアの協力を得て、**米づくり農業体験**を実施。(5年生)

地域での米づくりの体験を通して食を考えている。

苗床 → 種まき → 代かき → 田植え → 稲刈り → 脱穀

○安全・安心

・ 「**ながつた学援隊**」は地域や敬老会、保護者の方々によって構成され、学校周辺や**通学路の児童の安全見守り**のため、平成18年2月より活動を開始し、安全への対策を講じている。

・ 今年度は、**延べ2000人超の方々の協力**があり、暑い日も寒い日も雨の日も積極的に取り組んでいただけた。

・ 安全見守り活動には、2つの取り組みがある。

学校班・・・**下校時、学校正門の開錠**を行い、児童の下校指導を見届け、**下校終了後、施錠**する。また、学校下の**信号機設置場所**でも下校指導を行う。

低学年と高学年の下校時間が違うので、その間は**学校内の巡視活動**をしている。

自宅班・・・**自宅周辺の通学路に立ち、安全確保**の活動をする。

・ 学援隊は、児童の見守り活動からスタートしたが、秋の全校遠足の参加から、ふれあい給食、ふれあいフェスティバル、昔の話を聞く会、感謝の会、栄光の会、卒業式時の見守りや参加など、その関わりと深まりが増している。

・ 朝は、教職員による児童の登校指導を行っている。**児童は7～8人の異学年グループで登校班**を構成し、高学年の班長・副班長に前後を守られ、整然と登校してくる。本校のたてわり活動とふれあい活動の取り組みの一つである。

○放課後キッズクラブ(横浜市こども青少年局所管)

<目的> ・ 小学校の施設を活用し、**通学しているすべての児童**の安全で安心できる「**遊びの場**」「**生活の場**」の確保

・ **異年齢児や地域の人たちとの体験・交流**を通じた児童の社会性、自立心の育成

<開設時間> **平日：授業終了から午後7時まで**

土曜、長期休業期間：午前8時30分から午後7時まで

午後5時までは全児童、午後5時以降の時間帯については主として留守家庭児童を対象に実施。

<参加料> 午後5時まで 無料

午後5時以降 月額5,000円

○学校設備

長津田小学校の**体育館**は、平成19年度に**大規模改修**を行う予定です。(事務局)

霧が丘小の魅力

第2回調整委員会ニュース7頁「関係校の概要・沿革」に同じ

3 調整委員会に寄せられた主なご意見・ご要望について

- ★ ③みなみ台1丁目、④みなみ台2丁目・3丁目を動かしても過大校が解消しないというのなら、十日市場小学校、霧が丘小学校、田奈小学校、長津田小学校に隣接した地区をピックアップし、空き具合などを考慮して、再検討してはどうでしょうか。
→ 十日市場小は保有教室28教室にたいして、一番多い年で24学級、田奈小学校は保有教室24教室にたいして、一番多い年で24学級だが、増築した結果としての24教室なので、田奈小学校については受け入れが不可能です。(事務局)
- ★ 住所は十日市場町です。なぜ、うちの区域は変更対象にならないのでしょうか。十日市場町なのだから十日市場小でいいのでは。
- ★ いぶき野小の隣接小学校の中で、霧が丘小より十日市場小の方が教室に余裕がある。十日市場小の学区に隣接する区域について、新たな変更案として検討してほしい。
- ★ 数字や地理的な問題ばかりでなく、「安全面」についての質問への回答が、毎回「考慮して検討します」といった内容で不安は拭えません。新入学児のみを対象にするのはいかがなものでしょうか？皆公平に在学児童も変更するべきではないでしょうか？安全面や兄弟同じ学校へ通わせる、そして児童数の面においても全て公平且つ、効果的に学区の変更が行えたのではないのでしょうか？
→ 兄弟姉妹関係の取扱いにつきましては、委員会ニュース第4号掲載のとおり、学区変更時にいぶき野小学校に兄姉が在籍している場合は、弟妹は指定地区外就学により、いぶき野小学校への就学ができることになりました。
また、新入学児のみでの通学安全の確保につきましては、具体的な対応策の検討と併せ、保護者の方々のご理解、受入校の教室状況等を考慮しながら、対応してまいります。
- ★ ニュース第4号の通学区域変更案について、理解に苦しみます。第2号ではプリマシティのみ長津田小、霧が丘小へ変更しても2つの小学校とも受入人数オーバーと書いてあるのに、わざわざ範囲を広げて四丁目全域にするのは何故でしょうか？
→ 調整委員会の中で、丁目で分割した案を作成してほしいとの意見があり、調整委員会として案5-3及び案5-4を作成させていただきました。
- ★ 新たな案5-4では、長津田みなみ台4丁目全員が霧が丘小とありますが、霧が丘小の受入として物理的に可能なのでしょうか。
→ ニュースに掲載のとおり、案5-4では現在の保有教室での対応が不可能なため、多目的教室等を改修する必要が生じます。
- ★ 委員会には霧が丘小の自治会、PTAが参加されておりませんが、了承を得られる見込みがあるのでしょうか。
→ いぶき野小の過大規模、教室不足の状況については、御理解いただいておりますが、今後、受け入れの範囲によっては、霧が丘小の教室改造も必要となりますので、調整の余地は残っています。
- ★ プリマシティ分割案は調整委員会で却下されたと解釈してよろしいですか。
→ 通学区域変更案は現在検討中で、まだ、却下されたわけではありません。
- ★ 本件に関しては5月を目途に確定されるとのことですが、現実的なのでしょうか。
- ★ みなみ台四丁目全域を変更対象とした案は、単にプリマシティの人達が近隣のマンションも道連れにしたいだけの勝手な提案と思われ、取り上げて検討されたことに驚いています。
- ★ 同じ四丁目であるからと言っても、学区分け表などにもよく、〇丁目の一部とか更に細かく〇丁目の〇番地から〇番地と記載されていることから、必ずしも同丁目であれば同じ学区でなければならないということはありません。
- ★ これまでの経過を学校の地区分けで言いますと、基本は大きな道路で区切るということで、みなみ台は霧長線で区切るのが適当とされ、「県営、ひばり地区」が対象となった。しかしそれではまだ足りないので、世帯数の多い「さつき地区」も対象としたとなり、原案の図とほぼ一致します。この考え方が妥当ではないでしょうか。
- ★ 範囲を広げれば広げるほど、参戦してくる人がどんどん増えて、益々混乱し、收拾がつかなくなってしまうような気がします。できるだけ少ない範囲で済むようにという方向へ持っていくことが望ましいと思うので、範囲を広げることには絶対反対です。
- ★ データによると、児童数がどんどん増えていくことが前提のようですが、周囲を見ると、転勤族も割合多く、転出する人も少ないような気がします。
- ★ 大半の人が何とかしていぶき野小学校に通わせたいと思っているようですが、それは長津田小や霧が丘小に魅力がないのではなく、246号線や環状4号線を横断しての遠距離の通学は非常に心配というのが第一の理由だと思います。できるだけ安全に通学できるように検討していくことが記されていますが、具体的に説明していただき、安心できる方法があることがわかれば、状況は少しは変わってくるように思います。なるべく早く考えていただきたいと思います。

※ 調整委員会に寄せられた意見・要望については、十分配慮しながら、検討していきます。

委員会での主なご意見・ご質問等

- ☆ (過大規模校の問題点について説明があったが) 決定的にダメだという風には受け取れず、工夫すれば何とかできるという風に受け取れた。(プリマシティの)80%以上の居住者がいぶき野小学校を希望している。いぶき野小学校が無理ならば、霧が丘小学校が最善の方法と考えている。また、歩道の整備等、通学路の安全確保もしっかりしてほしい。
- ☆ 分割案ならばプリマシティとしては反対します。
- ☆ 霧が丘小学校は平成18年4月に開校してほぼ1年、落ち着くまではあと数年かかると思われる。ここに通学区域の変更が降りかかるわけで、簡単ではない。ただ、近隣の学校で児童数が急増し、対処しなければならないという状況については地域、PTAとも理解している。
霧が丘小学校への分割については、案5-4にあるように、霧が丘小学校の保有教室では無理がある。「多目的教室等を改修する必要あり」とあるが、全体を引き受けるとなると、多目的室すべてを改修する必要が生じる。これは、統合にあたって施設改修と教育内容を一致させる取り組みをしてきた、そのほとんどを否定することにつながりかねない。少なくとも、80%ほどの特色が消えることになる。このことを地元・PTAに理解、納得していただくことはかなり難しいと考える。
通学安全については、(仮に霧が丘小学校の学区になるとした場合)、今も該当地区の子どもたちが安全に登校しており、特段の問題は見受けられない。地域も「防犯・防災日本一」をスローガンに取り組んでいる。
- ☆ いぶき野小学校は確かに適正規模をこえているようには見えないが、すぐに使える余裕教室もなくなっており、2、3年後を考えると、やはりどこかで減らさざるを得ないことを実感している。
- ☆ はまっ子ふれあいスクールも、教室や運動場、体育館も使わせてもらい、1日に100人から利用しているが、将来的には200人になる見込み。学級数の増加により、はまっこで体育館を利用できる時間がだんだん遅くなっており、雨が降った時などは、教室も足りなくなって廊下まで使うような状態になっている。これ以上、増えると横浜市のプランに沿えなくなる。今は月曜日から土曜日までの利用だが、これ以上増えると利用日を制限せざるを得なくなる。
- ☆ 通常、はまっ子ふれあいスクールの利用者は全市平均で一日50人程度。100人を超えるというのは珍しいが、確かにこのまま増えると、本来の趣旨である「安全で安心な遊び場の提供」という趣旨に沿えなくなるだろう。(事務局)
- ☆ 教育委員会で地域に説明してほしい。
→教育委員会主催の説明会の件ですが、学区変更につきましては調整委員会に審議をお願いしていますので、調整委員会との共催でお願いしたい。棟別なのか5棟一緒なのかということもありますが、棟別ではやはり無理だとすれば霧が丘小学校の自治会なり、PTAとの調整、予算関係等があり、来月すぐに開催できるという状況にありません。(事務局)
- ☆ 霧が丘小学校や長津田小学校の見学会を実施してほしい。
- ☆ 十日市場町については、いぶき野小学校の新設に伴い、現行の学区となったが、中学校は従前のまま十日市場中学校であった。田奈中学校の学区であるいぶき野小学校の他の地区と異なっていたため、昨年秋に732人の署名を添えて、小中不一致を解消する学区変更と特別調整通学区域の設定を署名を集めて要望して平成18年11月に変更したばかりである。これでまた変更となると地域は大変なことになってしまう。
→十日市場小学校は、旧十日市場小学校跡地の計画等が未定であり、他地区から児童を受けられるのか疑問がある。(事務局)
→十日市場町については、検討を見送ることとしました。
- ☆ 通学安全の対応策ですが、関係の自治会や学校・PTAなどの協力を得て、現状把握をして、対応策を次回の委員会に提示させていただきます。それと案の絞り込みをしていただきたい。(事務局)

今回、下記のとおり委員の変更がありました。(敬称略)
プリマシティ長津田管理組合 理事長 鎌田 護 (変更)

【次回検討委員会日程】

平成19年4月27日(金) 午前10時から いぶき野小学校で開催予定

横浜市教育委員会の基本方針、いぶき野小学校通学区域調整委員会の検討内容等は
ホームページでもご覧いただけます。

- ・基本方針など <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>
- ・いぶき野小学校通学区域調整委員会 <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakkucho.html>



いぶき野小学校通学区域調整委員会は、皆さまからのご意見をいただいております。

FAXかEメールにて、事務局までご連絡ください。

いぶき野小学校通学区域調整委員会事務局
横浜市教育委員会事務局 学校計画課

FAX: 045-651-1417
Eメール: ky-ibukino@city.yokohama.jp
TEL: 045-671-3253



訂正

前回の委員会ニュースに掲載した案5-4について、いぶき野小学校と長津田小学校の児童数及び学級数について誤りがありましたので、訂正します。

(オリックス用地は本来、長津田小に算入すべきところを、いぶき野小に算入し、長津田小に算入しなかったため)

霧が丘小学校については、訂正はありません。

案5-4

「誤」

【兄弟考慮せず】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,206	1,151	1,081	998	898
	学級数	33	32	30	27	25
霧が丘小	児童数	657	728	810	869	904
	学級数	18	20	22	24	25
長津田小	児童数	459	511	574	653	733
	学級数	14	16	18	20	22

【兄弟考慮】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,225	1,209	1,172	1,110	1,019
	学級数	34	34	33	31	29
霧が丘小	児童数	657	705	764	808	837
	学級数	18	19	21	22	23
長津田小	児童数	440	476	529	602	679
	学級数	13	15	16	18	19

「正」

【兄弟考慮せず】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,152	1,105	1,044	971	882
	学級数	31	29	28	26	24
霧が丘小	児童数	657	728	810	869	904
	学級数	18	20	22	24	25
長津田小	児童数	513	557	611	680	749
	学級数	16	16	18	20	22

【兄弟考慮】

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小	児童数	1,171	1,163	1,135	1,083	1,003
	学級数	32	31	31	30	28
霧が丘小	児童数	657	705	764	808	837
	学級数	18	19	21	22	23
長津田小	児童数	494	522	566	629	695
	学級数	15	15	16	18	19